

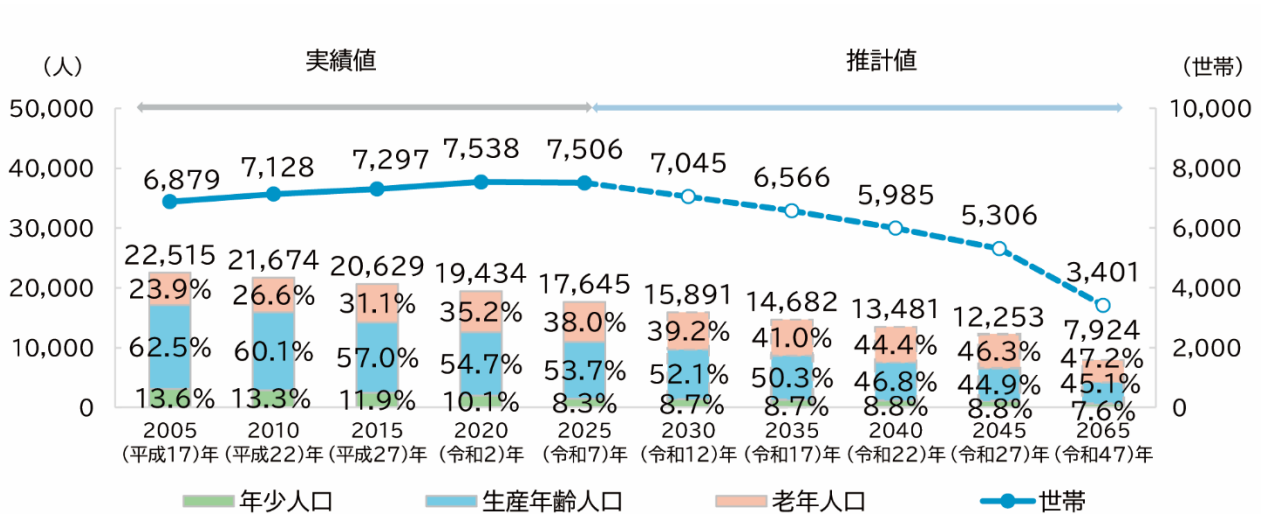
11 八尾地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口や世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年時点で17,645人、高齢化率は38%と3割を超えています。今後、さらなる人口減少により、高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

「越中八尾おわら風の盆」が全国的に有名であり、「越中八尾曳山祭り」は県の有形民俗文化財に指定されているほか、八尾町旧町周辺には資料館などの施設があり、歴史文化を体験することができます。

また、中山間地域などには、城跡などの歴史遺産が点在しています。

③自然・レクリエーション、景観

八尾町旧町周辺には、石垣や石畳など美しい街並み景観があり、諏訪町大通りは日本の道100選に選定されています。

また、中山間地域には、豊かな自然を活かしたスポーツ・レクリエーション施設があり、アクティビティを体験することができます。

④公共交通

JR高山本線の越中八尾駅と東八尾駅が立地し、複数のバス路線や市営コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

生活拠点である越中八尾駅周辺を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、地域の北西には、富山八尾中核工業団地が整備され、工業用地が広がっています。また、用途地域のほか、集落地域に低未利用地が存在しています。

地域の9割が山林などの自然的土地利用となっており、市平均よりも割合が高くなっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、井田川からの洪水、隣接する崖地での土砂災害など、複合災害が懸念されます。

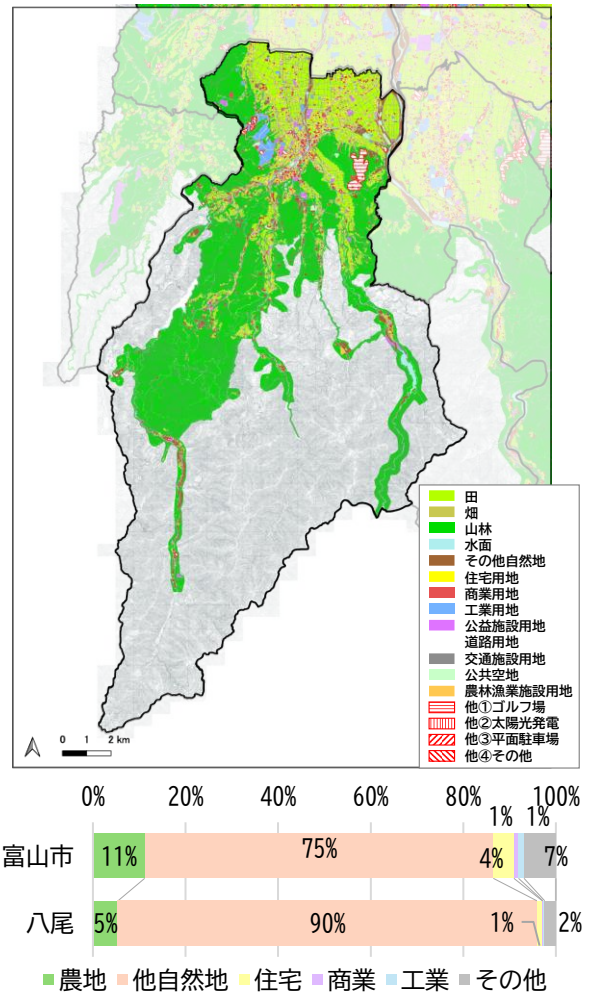
⑦生活行動

日常の買い物の約7割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院、文化・スポーツは約3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、婦中地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> ◇おわら風の盆や越中八尾曳山祭り ◇八尾の街並み景観（美しい街並みと文化的で豊かな暮らし） ◇良好な生活環境（適度な密度、自然が豊か、おいしいお米や水） ◇富山八尾中核工業団地 ◇自然を活かしたスポーツ・レジャー施設（サーキット場、温浴施設） ◇豊かな自然、農村景観（白木峰、キャンプ場、滞在型の市民農園、地場産の食、温浴施設、山間地の棚田や扇状地の田園など）
《20年後の地域の将来イメージ》	『自然・文化・食を活かせる、共存共栄しつづける八尾（まち）』

(2) まちづくりの目標

八尾地域では、固有の歴史・文化・街並み、周囲の山々や井田川の自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 地域固有の歴史・文化・街並みなどを活かした地域拠点の形成

越中八尾駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、越中おわら風の盆などの町人文化が息づく歴史・文化、街並みなどを活用して、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 周囲の自然環境や施設などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

周囲の山々や井田川などの自然環境、城ヶ山公園、東八尾駅周辺の水辺空間などを活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や農業・農村環境の保全

田園が広がる農業・農村環境、周囲の森林や水源などの自然環境の保全を推進します。

v) 先端技術産業の集積を活かした産業の保全

富山八尾中核工業団地を核とした、先端技術産業の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・地域拠点である越中八尾駅周辺及び旧町地区は、地域商業地区とし、歴史的な街並みを活かしながら、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・八尾中核工業団地は、工業地区とし、一層の工業振興を支援しながら、先端技術産業などの立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・福島周辺の市街地は、住宅専用地区とし、福島上野周辺では、戸建住宅を主体とした良好な住環境を形成します。・旧町周辺の市街地は、住居地区とし、八尾行政サービスセンターなどの公共公益施設や商業施設の利便性を享受できる住宅地を形成します。・JR高山本線以北の井田川沿いは、複合用途地区とし、工業施設やサービス機能などと調和した住宅地を形成します。・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・平野部に位置する農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。・山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。・自然環境を活かした住まいの提供など、集落維持に努めます。・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域とし、豊かな自然環境や景観の保全や森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・JR高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、生活バス路線の維持やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・越中八尾駅周辺では、バスとの連携強化やパーク&ライド駐車場の拡充などによる利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・都心間や拠点間の形成を支える道路として、（主）立山山田線・（都）高熊井田線などの整備を促進します。
- ・新井田橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちなみ、レクリエーション

- ・城ヶ山公園を地域拠点におけるみどりの核として維持します。
- ・神通川沿いでは、神通川水辺プラザを核としたレクリエーション場の形成に努めます。
- ・白木峰周辺や久婦須川ダム周辺では、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・峠川では、治水機能の向上と河川環境の整備を推進します。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業を促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・杉田西汚水中継ポンプ所などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・下井田新浄水場及び小長谷低区配水池、これらの施設に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

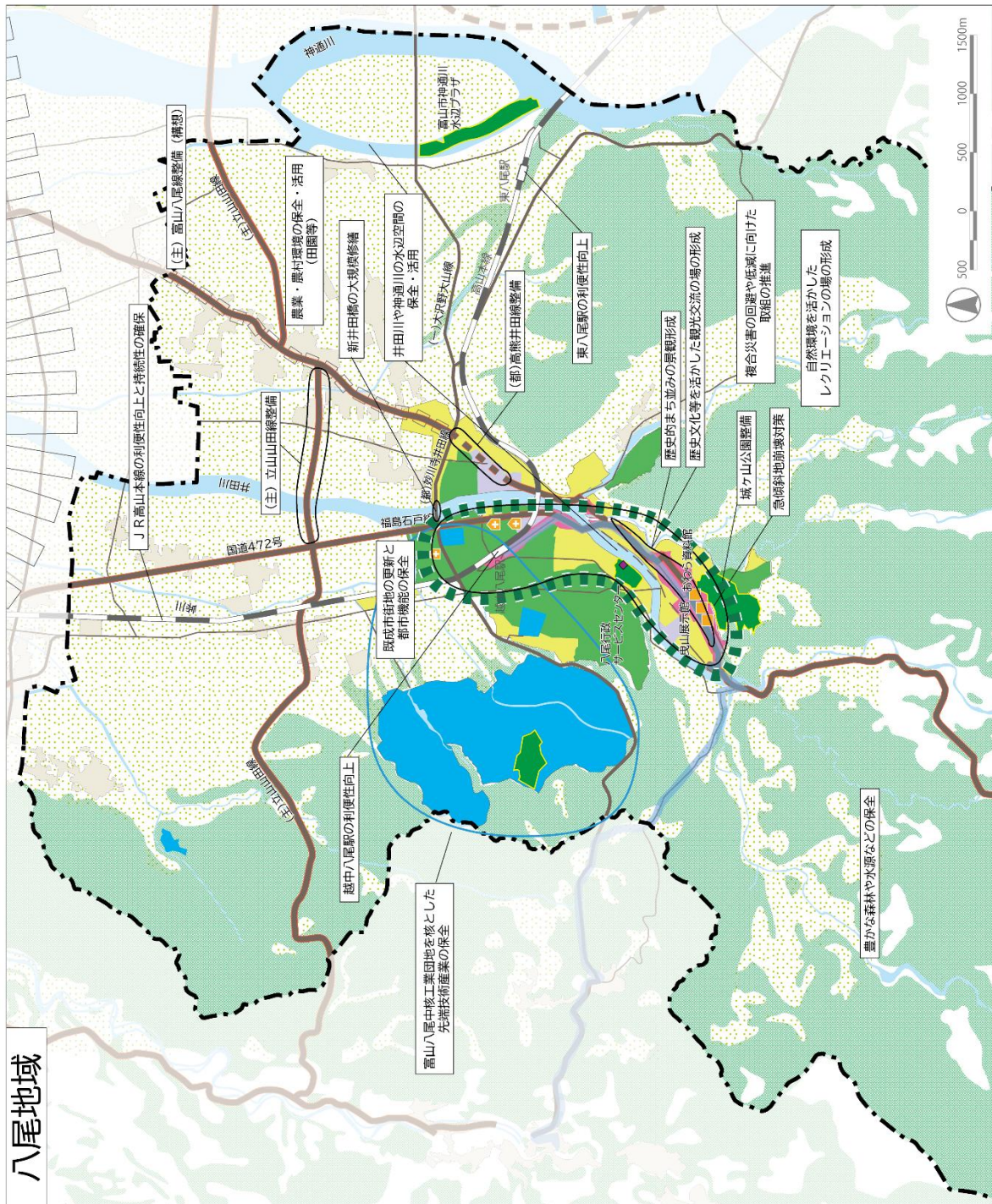
- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・旧町地区は、諏訪町本通りをはじめとした特徴ある街並みや歴史的建造物を活かして、歴史的な町並み景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など、危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・崖崩れなどのリスクがある諏訪町などでは、斜面地の防災対策として、急傾斜地崩壊対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

まちづくり方針図

凡 例	
地域商業地区	（ピンク色）
工業地区	（青緑色）
住宅専用地区	（緑色）
住居地区	（黄色）
複合用途地区	（紫）
農業保全地域	（黄緑色）
集落地域	（薄緑色）
森林環境保全地域	（濃緑色）
水面	（水色）
交通	（線）
主要幹線道路 （今後整備 ※事業中含む）	（太い茶色線）
（構想）	（細い茶色線）
幹線道路	（黒線）
地区幹線道路 （今後整備 ※事業中含む）	（太い黒線）
都市公園	（緑色の点線）
公園	（緑色の点線）
工業	（青緑色の点線）
拠点	（緑色の点線）
境界	（黒点線）
拠点間を結ぶコミュニティバス路線	（太い黒線）
観光施設 （スターマーク）	（☆）
商業施設（スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア等）	（四角）
金融機関（銀行、郵便局、JAなど）	（四角）
医療機関（内科）	（四角）



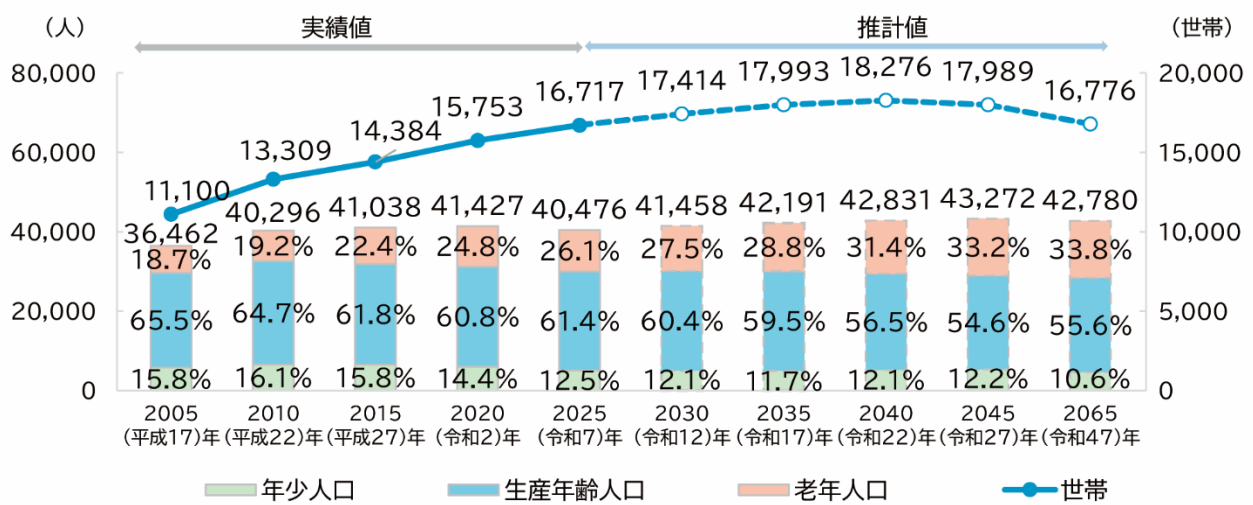
12 婦中地域

(1) 地域の概要

①人口・世帯数

人口は横ばいで推移しており、2025（令和7）年時点で40,476人、高齢化率は26%と他地域に比べ低くなっています。今後、人口・世帯数ともに増加しますが、高齢化率は3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、寺院や古墳、城跡などの遺跡や景勝地などが多く存在し、歴史・文化資源の宝庫となっています。

また、婦中ふるさと創生館などの施設、「ふちゅう曲水の宴」「安田城月見の宴」などのイベントを通して、歴史文化の学習や体験をすることができます。

③自然・レクリエーション・景観

都市近郊の豊かな自然や中山間地域から平野部までの多様な環境を活かした果樹園、博物館、植物園、牧場が立地し、自然と身近に触れ合うことができます。

また、地域内に白鳥の飛来地もあり、自然豊かな環境が維持されています。

④公共交通

JR高山本線の婦中鵜坂駅、速星駅、千里駅の3つの駅が立地し、複数のバス路線や地域自主運行バスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である速星駅周辺から国道 359 号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、郊外の農地や森林に大規模な低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の 3 割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

市街地は河川にはさまれており、垂直避難が困難となるような洪水の影響が懸念されます。

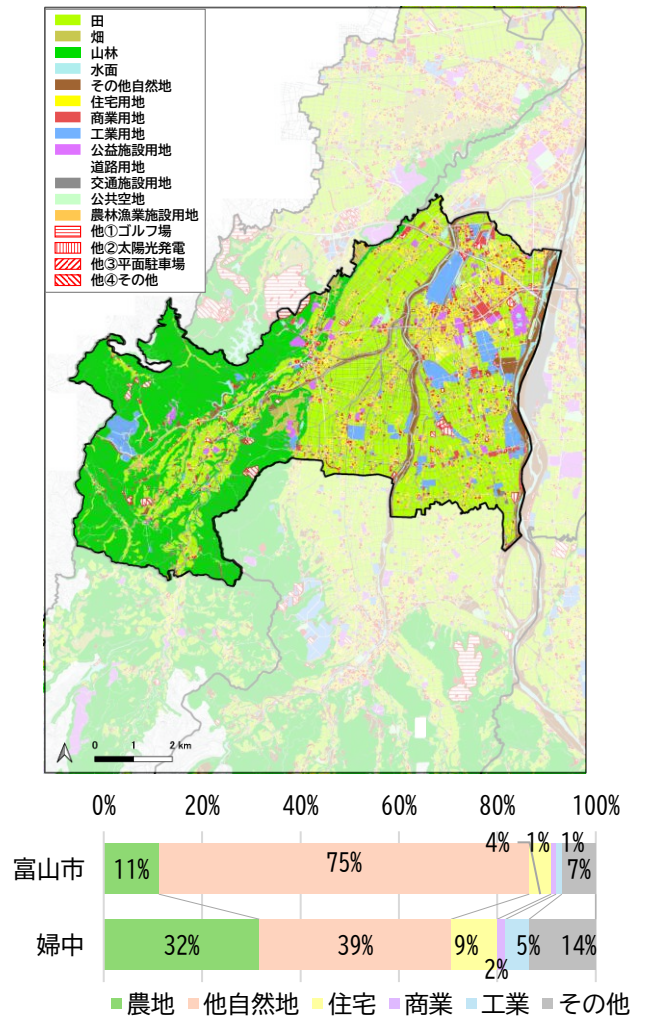
⑦生活行動

通勤・通学の約 7 割が他地域で行われていますが、日常の買い物や通院、文化・スポーツなどの活動は 6 割以上が自地域内で行われています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から八尾地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和 5 年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ファボーレ周辺の賑わい（広域の集客、アミューズメントの充実） ◇歴史、文化資源の宝庫（ふるさと自然公園、史跡安田城跡、史跡王塚・千坊山遺跡群、寺社仏閣、獅子舞や神輿、ふちゅう曲水の宴などのイベントなど） ◇豊かな田園、営農環境（田園景観、ブドウやスイカなどの特産物、丘の夢牧場などの里山、ハクチョウの飛来地など） ◇速星駅周辺の機能集積、住みやすさ（商業施設の充実など） ◇良好な生活環境やコミュニティの形成 ◇工場の集積
<p>《20 年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『地域の誇りと自信に満ち溢れるまち』</p>

(2) まちづくりの目標

婦中地域では、大型商業施設などの集積、里山周辺の自然環境や施設、歴史資源を活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 速星駅周辺の大型商業施設などの集積を活かした生活拠点の形成

速星駅周辺において、公共交通の利便性と大型商業施設をはじめとした様々な商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 里山周辺の資源などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

千里駅周辺などに広がる里山、富山県中央植物園、富山県自然植物園ねいの里、丘の夢牧場などの施設、史跡安田城跡や王塚・千坊山遺跡群などの歴史資源を活かし、市民が自然やレクリエーションに親しめる場の形成に努めます。

iv) 豊かな自然環境や農業・農村環境の保全

里山の自然環境、水田や果樹園からなる豊かな農業・農村環境の保全を進めます。

v) 広域物流に優位な環境を活かした産業の保全・誘導

高速道路 IC や幹線道路などとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である速星駅周辺、大規模商業施設周辺は、広域商業地区とし、買い回り品に加えて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設が充実した魅力ある商業地区を形成します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 富山空港周辺やJ R高山本線沿線の工業団地などは、交通利便性を活かした工業地区とし、製造業や先端技術産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> 速星駅周辺や(都)塚原羽根線の沿道などを除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。 速星駅周辺や広域商業地区周辺は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。 (都)塚原羽根線の沿道は、複合用途地区とし、沿道の商業機能などと調和した住宅地を形成します。 公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。 空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 平野部に位置する農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 西部に広がる森林や田園は、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、歴史や文化、森林、動植物とのふれあい環境を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- J R高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- 公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、主要なバス路線の維持や生活バス路線及び地域自主運行バスの機能確保に努めます。
- 速星駅周辺では、バスとの連携強化などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の整備構想検討を促進します。
- ・宮神橋や新保大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設や機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・神通川緑地や富山県中央植物園の周辺に広がる、広場やスポーツ施設により、スポーツや自然学習など多様な余暇活動の需要に応えるレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・宮島川、峠川、坪野川、山田川、井田川では、治水機能の向上を進めます。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・速星雨水ポンプ場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう速星排水区において浸水対策を推進します。
- ・東部浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

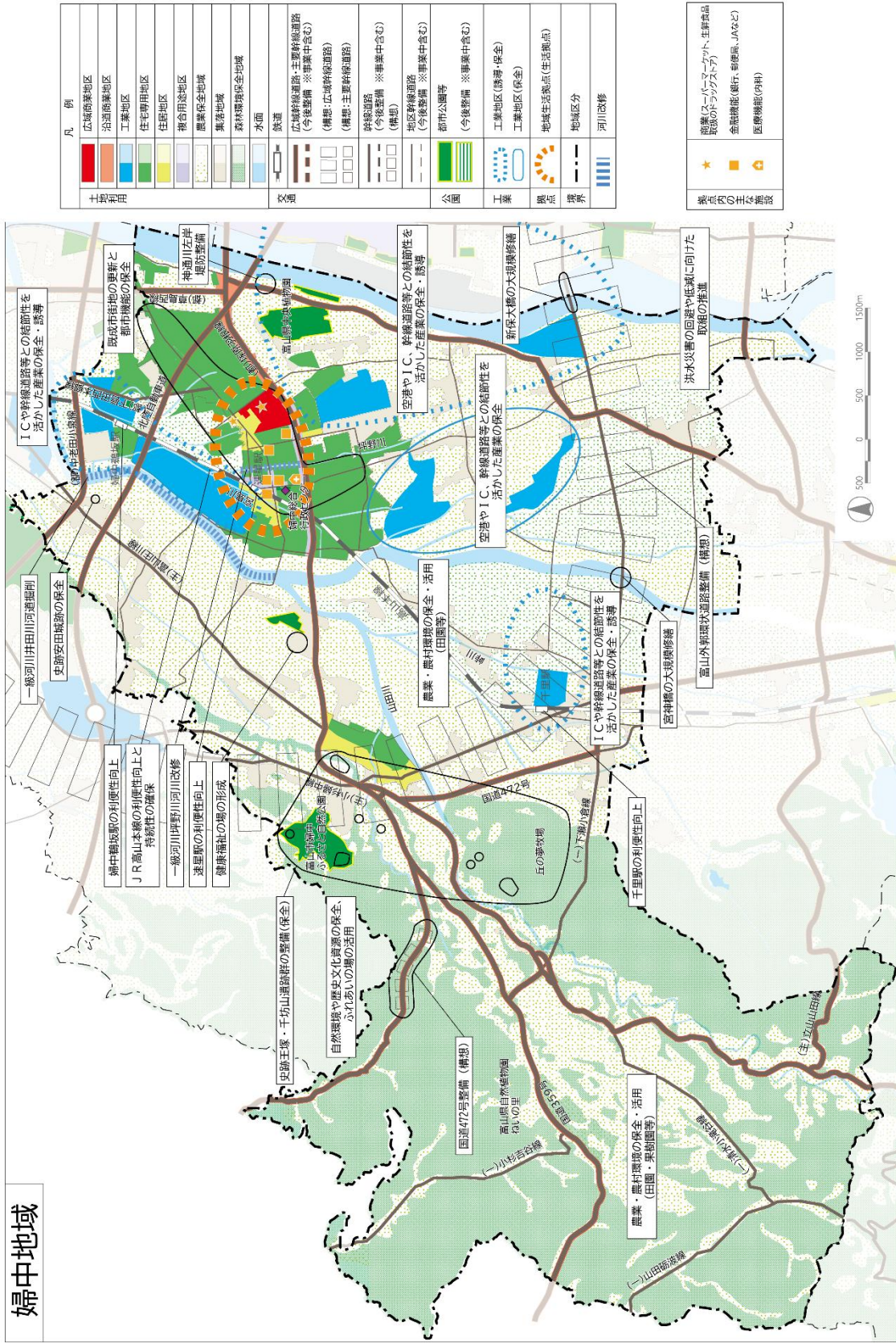
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・富山県自然博物館ねいの里や富山県立中央植物園などの施設、田園の農業・農村環境、里山などの動植物の自然環境の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

まちづくり方針図



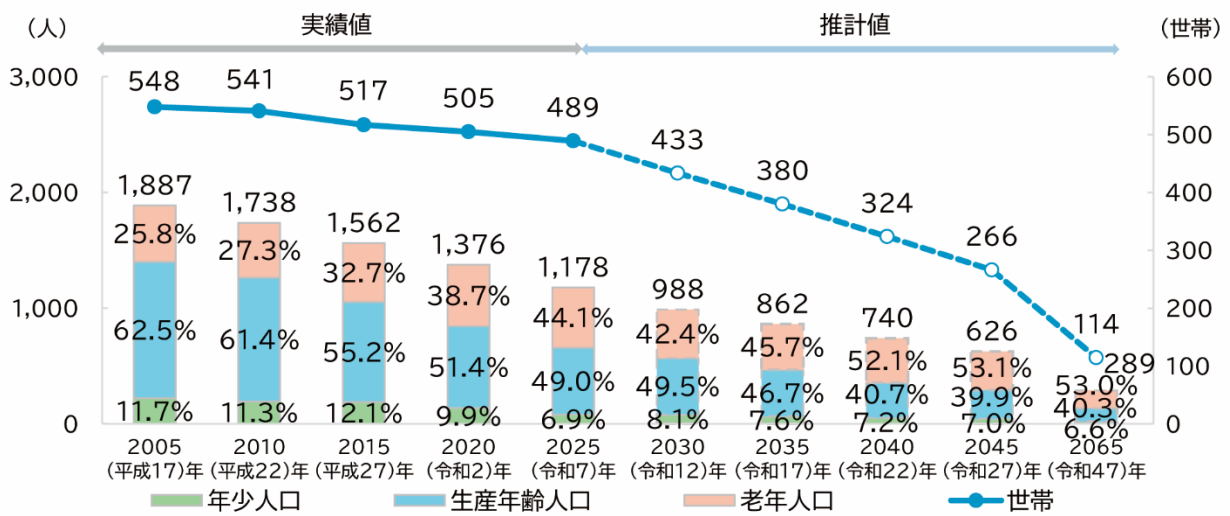
13 山田地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年時点で1,178人、高齢化率は44%と4割を超えています。今後、2045（令和27）年には、人口は約半数、高齢化率は約5割となる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、ブナ林や大杉、大桜をはじめとする自然資源が点在し、城跡などの歴史遺産があります。

スキー場やキャンプ場など、自然を活かした大規模なレクリエーション施設などが立地し、野外アクティビティを体験できます。

③自然・レクリエーション・景観

棚田の原風景が広がり、高原の台地が育んだ特産品を販売する農産物直売所が立地しています。

また、自然を活かしたスポーツ、レジャー施設を活用し、関係人口の拡大に向けた交流事業が進められており、牛岳からは雄大な眺望景観を楽しむことができます。

④公共交通

生活に密着したコミュニティバスが生活圏や主要施設をカバーしています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害や、ため池氾濫などの懸念があります。

⑦生活行動

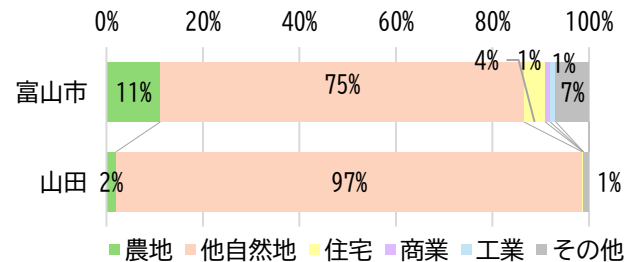
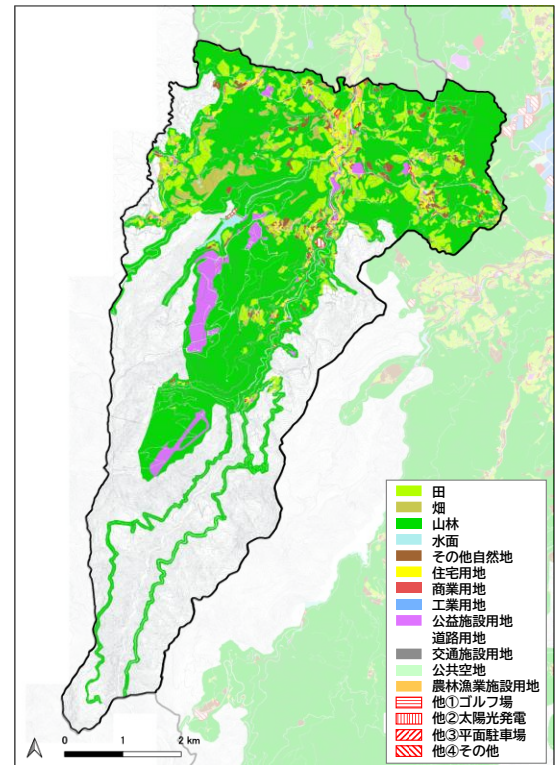
日常の買い物の約9割、通勤・通学の約7割、通院はほぼ全てが他地域内で行われています。

なお、婦中地域や八尾地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、八尾地域や婦中地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇豊かな田園、農村環境（棚田などの環境、標高の高い農地） ◇付加価値の高い農作物の栽培（ニラ、大根、ジャガイモ、そば、啓翁桜など） ◇自然に囲まれた良好な生活環境 ◇自然を活かしたスポーツ、レジャー施設（スキー場、キャンプ場、富山市こどもの村、サイクリングロード、温浴施設など） ◇一流の田舎として、移住者が増加（市街地まで約30分と身近な中山間地域） ◇富山を一望できる眺望景観（富山平野や富山湾を一望）
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『幸せ日本一！の山田』</p>

(2) まちづくりの目標

山田地域では、山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

山田中核型地区センター周辺において、生活機能などの維持と、牛岳など山岳の自然環境、スキー場や温浴施設、農作物の販売施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 生活交通の維持と既存集落（宅地）での居住環境の形成

生活交通の維持や既存集落（宅地）の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 主要な道路の適正な保全や整備

越中八尾駅などにつながる主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 豊かな森林や水源など自然・農業・農村環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然や棚田をはじめとした農業・農村環境の保全を図ります。

v) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

<p>農業・ 自然系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である山田中核型地区センター周辺は、生活に密着した商業などの生活関連機能の維持に努めます。 ・ 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・ 特徴的な景観を形成している棚田をはじめとした中山間地域に点在する農地は、農業保全地域とし、良好な営農環境を保全するとともに、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 ・ 森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
--------------------	--

②交通体系の方針

公共交通

- ・生活の足を確保するため、越中八尾駅を結ぶ市営コミュニティバスの機能確保に努めます。

道路

- ・宿坊大橋や中央橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちなみ、レクリエーション

- ・牛岳山麓とスキー場及び牛岳温泉健康センター周辺を中心としたスポーツ・レクリエーション施設は、管理体制や機能強化を推進します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・山田川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・山田浄化センターなどにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

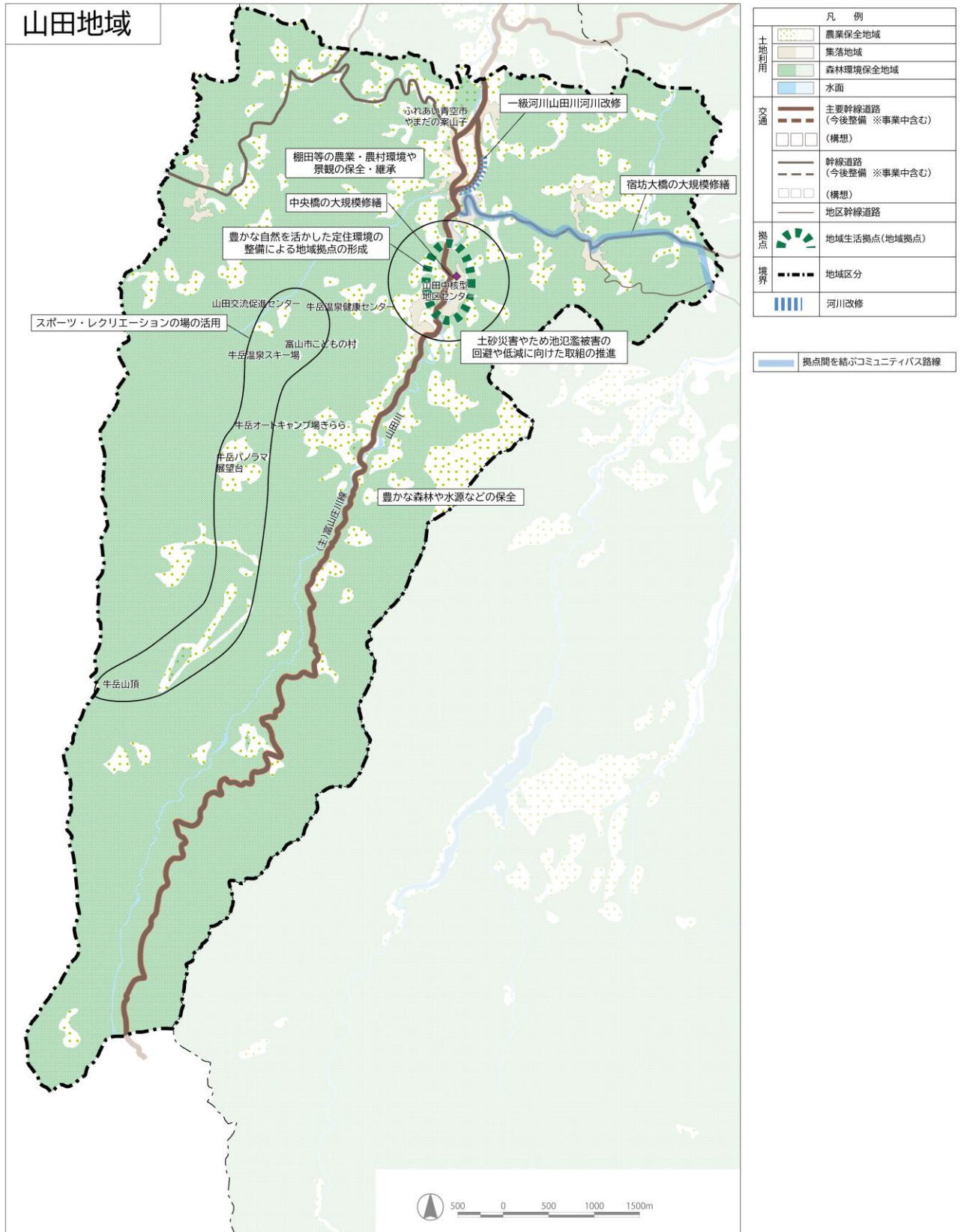
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・特徴ある棚田景観などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・土砂災害のリスクのある山田川流域の中村地内などでの土石流対策や湯地区などでの地すべり対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



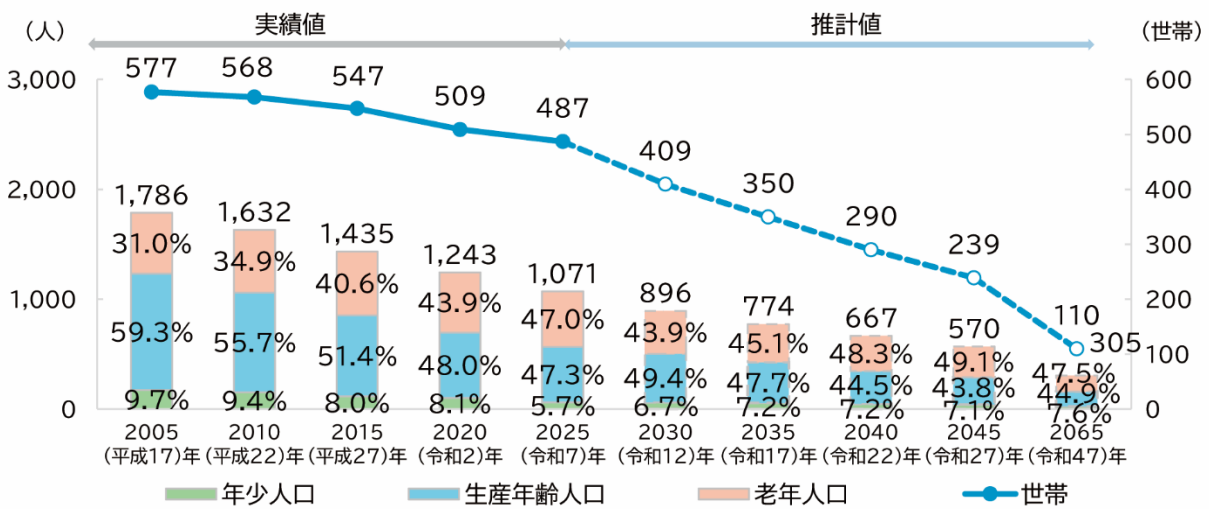
14 細入地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年時点で、人口は1,071人、高齢化率は47%で他地域と比べ最も高くなっています。今後、2045（令和27）年には、人口は約半数、高齢化率は5割近くになる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県指定の史跡である猪谷関跡のほか、猪谷関所館などが立地しており、歴史文化の拠点となっています。

また、古くから伝わる獅子舞やお祭りが地域の伝統文化として残っています。

③自然・レクリエーション・景観

神通川沿いの自然を活かした温泉施設やキャンプ場、道の駅があり、観光や自然のアクティビティを楽しむことができ、市民の余暇や来街者の長期滞在などでの利用が進んでいます。

また、自然が作り上げた溪谷美「神通峡」では、四季折々の豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

JR高山本線の楡原駅と猪谷駅が立地しています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害の影響が懸念されます。

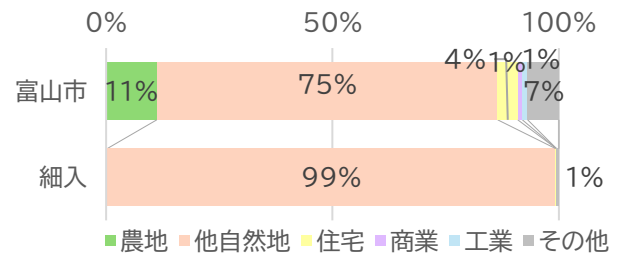
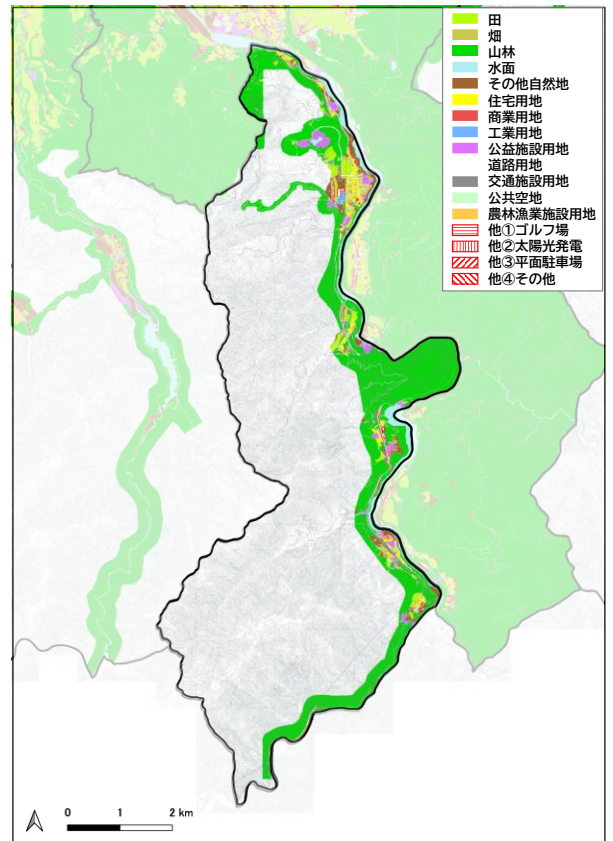
⑦生活行動

日常の買い物の9割以上、通勤・通学の7割以上が他地域で行われています。
 なお、大沢野地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、大沢野地域との強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇充実した広域交通 （富山市中心部や大沢野から飛騨や名古屋までをつなぐ国道41号やJR高山本線）</p> <p>◇歴史文化拠点の点在、気ままな暮らし （地域の獅子舞や重忠祭りなどの伝統文化、神通峡をはじめとした豊かな自然、キャンプ場や温浴施設などの施設、森林に囲まれた静かな生活など）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『若者が集うまち』

(2) まちづくりの目標

細入地域では、神通峡の景勝やレジャー施設、飛騨街道の歴史・文化資源、道の駅などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 神通峡の景勝やレジャー施設を活かした地域拠点の形成

J R 高山本線楡原駅周辺において、生活機能などの維持と、神通峡の景勝や豊かな自然環境、キャンプ場や温浴施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携した既存集落（宅地）の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 飛騨街道の歴史・文化資源、交流の場の活用

J R 高山本線猪谷駅周辺の猪谷関所館や道の駅、各所に残る歴史・文化の資源などを活用し、市民や来街者が飛騨街道の歴史・環境に親しめる場を形成します。

iv) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

既存集落（宅地）や岐阜県飛騨地域を結ぶ公共交通及び主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・楡原駅周辺を中心に、公共交通の利用環境や生活関連機能の維持に努めます。・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制し、良好な農業・農村環境を保全します。また、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。・森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
--------	---

②交通体系の方針

公共交通

- ・ J R 高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・ 生活の足を確保するため、効率的な生活交通サービスの提供を検討します。

道路

- ・ 高規格道路である富山高山連絡道路の(都)富山南線・猪谷榆原道路の整備を促進します。
- ・ 観光橋や神峽橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 旧飛騨街道や猪谷関所館などの歴史文化資源の活用に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 榆原浄化センターなどにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・ 地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 神通峽などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・ 土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

